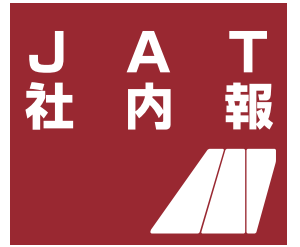


# 日本エアテック 社内報



2018年 夏号  
発行：日本エアテック 管理企画室



# 日本エアテック社内報



2018年  
夏号

【発行】  
日本エアテック  
管理企画室



KEYMAN's INTERVIEW

## 責任と役割分担

キーマンズ・インタビュー

—— 当社の鍵を握るあの人に、聞いてみたいことがある。 ——

## KEYMAN's INTERVIEW

おきやま  
みな  
**沖山 三奈**第一工作部 第二工作課  
神戸工作係

今回のキーマンズインタビューでは、「第一工作部第二工作課神戸工作係」の沖山三奈さんにインタビュー。大型のターニングを動かす業務や、現在主に携わっている生産管理業務についても伺いました。未経験からの入社で戸惑ったことや「やるしかない」と奮い立つに至った経緯、今の心境などについて詳しくお話しいただいています。

「まず、沖山さんの経歴を教えてください。」  
入社して、ちょうど二年くらいになります。これまで、まったく技術系や工作系の仕事に就いたことがなかったのですが、入社当時は見るもの、聞くものすべてが新鮮でした。

「第一工作部第二工作課神戸工作係に所属されていますが、具体的にはどのような業務を担当されているんですか？」

「盤による加工をずす」として、大型のターニングを担当しています。ターニングを見極めてスイッチ操作で機械を動かすんです。初めはその業務だけでしたが、現在は生産管理も兼任しています。

「入社から一年で、様々な業務を担当されているんですね。割合的にはどれくらい？」

「少し前までは午前中に生産管理、午後からターニングといった具合に、ちょうど半々くらいでしたが、今はほぼ生産管理に集中しています。たまたま人手が足りないときだけ、機械を動かしています。」

「オールマイティですね。入社されてはじめてターニングをご担当された時のことは覚えていらっしゃいますか？」

「配属される前に、「本当に私で大丈夫ですか？」と確認したので覚えています。でもサラッと「大丈夫だよ」と言われて…(笑)。それに、今ではいろいろ

な部署や部門に女性が増えましたが、私が入社した当初は神戸工場自体に女性が片手で数えるほどしかいなかった。初めて現場に行ったときは周りのスタッフも少しビックリしていました。

「専門用語も多く、苦勞されたことも多かったのでは？」

「専門用語もですが、何より図面が難しかったです。初めて見たときは「何これ!」って驚きましたね。図面を見ながら、「ここを削って、この半径は…」と詳しく教えてもらったんですが、やはり最初はチンパンカンパンでした。でも「投げ出す」とか「辞める」という選択肢が私にはなくて、「やるしかない」と思いましたね。」

「その強い意志で、一から勉強を始めたわけですね。」

「やります、大丈夫です」と言ったものの、内心すごく不安ではありました。でも、周りの皆さんがすごく丁寧に教えてくださった。入ってきたときに比べたら、なるほど、このツールはこう削ったら良いのかって基本の「き」ぐらいはわかるようになってきたかもしれませんが、まだまだ奥深いところまでは極められていません。」

「一つの製品を作るのに、やはり何工程も踏んでいるものなのでしょうか？」

「私一人で一つの部品をすべて完成させるわけではなく、皆で役割分担をしています。一緒に働いてくれるんですよね。例えば私が重いツール交換をやらうとしても、体力的にどうしても出来るのが先じゃない。だから、それは男性社員が率先してやってくれます。もちろん全てを任せっきりじゃなくて、「代わりにこの工程は私が担当します」と申し出ることもあります。」

「チームワークがとれているわけですね。」

「正直、はじめは全く一人でやらうとしていました。というか、やらないとい

けないって思っていたんです。でも無理なものは無理だし、時間だけが無駄に掛かってしまつて、逆に皆さんに迷惑を掛けてしまう。それだったら頼れるところは頼つて、「私にできることを探そう」と思ったんです。そう考えるようになって、私も周りのことが見えるようになってきました。その線引き、見極めをするのが入社してから一番大変だったかも知れません。でも勇気を持たせてお願ひしてみたら、皆さんすごく優しいし、快く引き受けてくれる。その分、私も頑張らなきゃって良い意味で開き直ることができて、すごく働きやすくなりました。」

「そんな中、「生産管理」という新しい業務も兼任することになり、いかがでしたか？」

「また違った緊張感がありますね。もちろんどちらかミスは許されませんが、ターニングのほうは高い技術が求められて、ミリのスレも許されません。技術的な神経をビリビリ使ってますよね。でもたまにボタンを押すと、ドキドキします。一方、生産管理は指示書を主に作つたり進捗をとつたりするので、事務仕事ですが集中してないとミスを犯してしまいます。文字通り、皆さんに「指示」を出す書類でもあるわけですから、これが間違つると大変なことになっちゃうんです。しかも基本は一人で作業なので、かなり集中してやっています。でも私は依然勉強中なので、先輩方と比べるとまだまだだなんて常に思っています。」

「では、一番達成感を感じる瞬間は？」

「自分では、この一年で全然成長できたと思っていないので、正直まだ達成感を感じていません。自分にも自信を持てる

くらい何でもテキパキこなせるようになりたいし、周りからも信頼される存在になりたいですね。それに比べて上司・先輩の皆さんは、私が失敗してしまつても、「僕私」がちゃんと伝えられていないから」とかばつてくれます。本当に頭が上がりません。尊敬する存在ですね。」

「日頃、神経を集中させた業務に就かれているわけですが、お休みの日のリフレッシュ方法は？」

「子どもと遊びますね。5歳の男の子と4歳の女の子がいるんですが、今本当にヤンチャな時期で…。一緒に公園に行つて遊んだり、買い物に行つたりしています。リフレッシュするといよりは、余計疲れているかも知れませんが、でも可愛くて仕方がないし、癒されますね。」

「仕事に戻つても頑張れる糧になりますね。」

「そうですね。でも本当に居心地の良い場所で作動させていただいて、家庭とのバランスも取れているので、日々感謝しています!」

